

1. 学びに集中できる学習環境を整える



○持ってくる学習用具・・・学習に集中できるよう、筆箱の中身はシンプルなものを用意します（記名も）

といだ鉛筆	5, 6本 (Bか2B)
ペン	赤, 青ボールペン (赤, 青鉛筆) マーカー (高学年), 黒の油性ペン 1本
消しゴム	消しやすいもの 1個 (香り無しのもの)
15 cm 程度 の定規	透明なもの 1本 (2つに折れないもの)

※筆入れや鞆には、マスコットやキーホルダーなどをつけません。シンプルイズベストです！



※必要に応じて、コンパス・三角定規・分度器など

2. 家庭学習の時間・すること

○家庭学習時間の目安（西彼町推奨）

- 1・2年・・・40分
- 3・4年・・・60分
- 5・6年・・・90分

でも、どうすればいいの？

～「家庭学習」に対する学校での指導について～

学校では「してこないことへの指導」ではなく、学習の必要性を説いたり、具体的な方法を教えたりしながら、努力を認めるプラスの声掛けをしたいと思っています。主体的に『学びに向かう力』を身につけることはお子さんの将来にとって必要不可欠です。「やりたいがあふれる」自主学習を子どもたちが計画し、実践を繰り返す積み重ねの先に、将来挑戦したいことへのきっかけや自己実現への道が開けると信じます。学校と家庭が一緒になって、「がんばったね」「やってよかったね」と励ましながら、新たな学びを楽しみに学校に向かう・・・そんな「やりたい」のあふれる子を育てていきましょう。

家庭学習の習慣・時間の確保のためのポイント

その1 📌 まずは今日のメインから

今日の家庭学習メニューの確認・取りかかる → 順番を決めて、計画できたらスタート！

保護者のチェック（チェックカード）・・・子供の頑張りを見て（聞いて）、励ましてあげてください。

その2 📌 時間があれば・・・プラスアルファで



予習・・・明日勉強するところを教科書で読むだけでもOK！見通しがもてれば安心して明日の授業に臨めます。

読書を楽しむ・・・家庭学習の最後に、純粋に読書を楽しみましょう♪（図書室・図書館からかりた本なども）

読み聞かせもいいですね。（状況に応じて親⇒子、子⇒親、きょうだい間もOK）⇒読書の習慣につながります。

※この手引きは、子どもの学習効果を高めるための基本的な考え方や関わり方を学校と家庭で共通理解を図るための資料です。子供が自分で学ぶことができるようになれば、未来への大きな財産となります。家庭学習が「長い・・・」から、「気づいたら、もう〇分経っていた!」と徐々に変化するといいですね。

3. 自主学習メニュー（一例）

1・2年生向け 国語・算数・生活科など	3～6年生向け 国語・算数・理科・社会・外国語・家庭科・総合・音楽 など教科の幅が広がります！
○ ひらがなの れんしゅう ○ ひらがなの ことばあつめ ○ ひらがな しりとり ○ かたかなの れんしゅう ○ かたかなの ことばあつめ ○ かたかな しりとり ○ かん字 の れんしゅう ○ かん字 を つかった ことば作り ○ きょうかしよを 見て かきうつす(ししゃ) ○どくしょかんそうぶん ○あすの がくしゅうの よしゅう ○いままでの ふくしゅう (けいど, かんどなど) ○すうじの れんしゅう ○かずあわせ(すうじと おなじ かずの えを かく) ○いくつといくつ(えと すうじで あらわす) ○たしざん, ひきざんの けいさん れんしゅう(ひっ さんも ふくむ) ○かけざんの けいさん れんしゅう ○さんすう お はなし もんだい づくり(たしざん, ひきざん, かけ ざん) ○しきを えで あらわす(たしざん, ひきざん, かけざ ん) ○ずかん しらべ ○いきもの・しょくぶつしらべ ○町たんけん(おみせやしぜんのはっけん) ●かだいの ふくしゅう(まちがえた もんだいを やり なおす)	○漢字テストに向けての練習 ○辞書引き・意味調べ ○視写(教科書をノートに写す) ○詩・俳句 ○日記・絵日記 ○物語づくり ○四字熟語・ことわざ・慣用句 ○読書感想文 ○新聞記事感想文 ○気になるニュース調べ(最近のニュースより) ○漢字の書き順, 部首調べ ○調理実習レポート ○前の学年までの学習の復習 ○計算ドリルの復習(前の学年の問題を解く・計ド, 漢ドなど) ○文章題づくり ○図形を描く(コンパス, 定規, 分度器を使って) ○ - 生き物観察・生態調べ ○図鑑調べ ○国旗・地図などのスケッチ ○ローマ字・英単語・英文学習 ○地理・歴史調べ ○長崎県・西海市(地域)について ○歴史人物調べ ○環境問題について ●訂正ノート作り(テストで間違えた問題の復習)問 題文を書き, 間違えた答え⇒正しい答え・ポイントなど をまとめる。

～これは、一例なので、ぜひ新たな学びのアイデアを生み出してほしいです～

学校では、友達が取り組んだ家庭学習や自主学習ノートをお互いに見合い、新たな取組へのヒントやアイデアを生み出す場を大切にしていきます。

本校では、これから下の「家庭学習チェック(計画)カード」の取組を始めていきますので、御紹介します。記入例を参考にしてください。高学年は、1週間の取組の計画を事前に立てて、見通しを持てるようにします。

なまえ ()		音どく	けいさん	こくご	さんずう	どくしょ	そのほか	家の人	先生
△			ふん びよう						
△			ふん びよう						
△			ふん びよう						
△			ふん びよう						
△			ふん びよう						
△			ふん びよう						
△			ふん びよう						
△ふりがえり									
△おまの人から									



子どもたちが振り返りを記入した後、「お家の人から」の欄に励ましのメッセージをお願いします！

[illegible]

家庭学習計画カード							目標時間:90分				
名前()											
月	音読	漢字	漢ノ漢ド・計ド	プリント	自学	読書	合計	家の人	先生		
火	音読		漢ノ漢ド・計ド	プリント	自学	読書					
水	音読		漢ノ漢ド・計ド	プリント	自学	読書					
木	音読		漢ノ漢ド・計ド	プリント	自学	読書					
金	音読		漢ノ漢ド・計ド	プリント	自学	読書	学習				
土	音読		漢ノ漢ド・計ド	プリント	自学	読書	学習				
日	音読		漢ノ漢ド・計ド	プリント	自学	読書	学習				
	音読	漢字	計ド	プリント	自学	読書	合計	家の人	先生		
	<ふりかえり>							分			
	<ふりかえり>							分			
	<ふりかえり>							分			
	<ふりかえり>							分			
	<ふりかえり>							分			
	<ふりかえり>							分			
	<ふりかえり>							分			
	<ふりかえり>							分			
	<ふりかえり>							分			
<お家の人から>											



教科書、ノートなどと同様、**文房具の一つ**として捉えてください。家庭学習の調べ学習や、課題に「**e ライブラリ**」などの **Ai ドリル**の利用により、個に合った学習が可能です。学校から出される課題だけでなく、様々な学年の様々な教科を自由に選んで学習することも可能です。⇒取組後すぐに成否や解答が分かるため、学習効果も高まります。

※長期休業中には、じっくり復習をし、自由研究の調べ学習やスライド作成等にも活用できます。

※今年度の西海市放課後オンライン学習実施学年・・・4・5・6年生（教育委員会より別途案内）

- ・読書タイム(月・火・木・金)朝8:00~8:10
- ・学びの時間(国・算)・・・(毎週月・金)朝8:20~8:40
- ・漢字コンクール(本校作成のオリジナル問題を今年度より毎学期に1回ずつ実施予定)
- ・4月,12月の学力調査に向けての対策(3~6年生)



「主体的に学びに向かう子供の育成」を目指して、**学校・家庭・地域・教育委員会**が一体となることを目指して、様々な取組が今年度始まっています。一緒にお子さんのやりたい学びを支えていきましょう！